

帯工高生に最先端現場を

士幌の平田建設 芽室で見学会

【芽室・士幌】士幌町の平田建設(長谷川雅毅社長)は24日、同社が芽室町伏美科の生徒113人を対象に



測量機械の使い方を体験する生徒たち

「i-Construction(アイ・コンストラクション)・建設DX現場見学会」を開いた。

アイ・コンストラクションとは、建設現場にICT(情報通信技術)を活用することで、生産性の向上や経営環境の改善を進める取

り組み。最先端の建設現場を生徒たちに知ってもらおうと見学会を開催しており、今年で4回目となる。現場見学会は学年ごとに行

われた。現場責任者が、管水路工事は農業用水の配水が目的で「農産物の安定した収穫につなげるための工事」と説明。十勝での農業に付随する工事の重要性を生徒に伝えた。

ICT建設機械の体験コーナーでは日立建機日本が協力。生徒は設計データに基づいて作業を制御できるマシンコントロールシステムを搭載したバックホウに体験搭乗したり、災害時に活躍する無線式バックホウをリモコンで操作する様子を見学したりした。人工衛星を使用した測量機の使い方なども体験した。

1年生の田中礼人さん(16)は「ICT技術で効

率が進む現場を知ることができた。ただ技術が進化しても安全面を常に考える必要があることを学んだ」と話した。

同社工務部の樺真嗣副部長は「担い手不足の中、現場に興味を持ってもらえたらうれしい」と話した。

(近藤周)